

第3章 福山市の歴史文化の特性

第1節 歴史文化の特性

福山市の文化財とその周辺環境を含めて整理すると、大きくは次のような特性を見出すことができます。

- 1 遺跡が物語る福山の黎明期のすがた
- 2 交易・交流の基盤と文化
- 3 自然と人工物の造形
- 4 中世武士の台頭と近世における福山藩の足跡
- 5 人材の輩出と学問・文芸
- 6 今に引き継ぐ暮らしと産業の文化
- 7 災いとそれに立ち向かってきた英知

1 遺跡が物語る福山の黎明期のすがた

中国地方の中央部に位置する本市における人々の営みは、約2万年前の旧石器時代に遡り、瀬戸内海の形成とともに縄文時代・弥生時代・古墳時代の人々が紡いできた各時代の営みが連綿と残されており、今も新たな遺跡・遺物が発見されています。福山の黎明期のすがたを知ることができる遺跡や遺物を中心とする歴史文化です。

■旧石器時代における人びとの営みと縄文・弥生への発展を伝える遺跡・出土遺物

福山市では、2万年前には先人達が暮らしていたことをうかがわせる遺跡や出土品があります。

縄文時代が始まった頃から次第に暖くなり、瀬戸内海が形成されたことから、福山湾岸や松永湾岸にも貝塚などの多くの縄文時代の遺跡が確認されています。

弥生時代に関しては、神辺平野の環濠集落と、そこから発展した丘陵部の大規模集落などが確認されています。

このように原始時代の遺跡や出土品は、気候変動と瀬戸内海の出現、狩猟から農耕への変遷など、黎明期における先人の暮らしと文化をうかがい知ることのできる遺産です。

■特徴的な数多くの古墳

福山市には、神辺平野一帯を中心に数多くの古墳があるとともに、松永湾岸にも海上交通や海産物による富の集積を背景に築造されたと考えられる古墳があります。

このうち古墳時代の前期・中期は吉備勢力、後期は畿内政権の影響を受けていたことが古墳の築造技術や出土品から類推できます。また、時系列的にみると、埋葬施設などが変化していることを知ることができます。

このように外部との関係や影響を受け築造された数多くの特徴的な古墳があります。

2 交易・交流の基盤と文化

瀬戸内海を交易・交流の大動脈として、人も物も情報も行き交いました。特に豊後水道と紀伊水道を通して満ち引きする潮がぶつかり合う瀬戸内の中央に位置する備後は、潮待ちの港として文物の集積地としての役割を果たします。また、古代から近世にかけて山陽道が整備されると、陸路による交易・交流が発展していきます。これらの交易・交流により形成された各時代の文化財を中心とする歴史文化です。

■街道と海道の遺産

福山市では、市域北部の山裾を東西に古代（中世）山陽道が通り、近世には市域北東部（神辺付近）から南西方向に南下し、沿岸部近くを通るルートになりました。古代（中世）山陽道の近辺には、往時を継承する社寺があり、寺院跡も確認されています。また、近世山陽道では東から神辺、今津で宿場町が形成され、歴史的な町並みや建造物が残されています。この他、脇街道として、尾道街道、鞆街道、神辺街道、藪路街道、石州街道、笠岡街道等があります。更に、街道沿いには、旅人の休憩所、住民の信仰・交流の場として、各所で辻堂がつくられ、「もてなしの文化」を示すものともいえます。

加えて、瀬戸内海は古来より海上交通の大動脈であり、福山・松永湾沿岸部には多数の港が築かれ、交易・交流の拠点となりました。このうち鞆は、奈良時代には大伴旅人が海路で大宰府から都へ帰る途中で詠んだ歌3首が万葉集に収録されるなど、万葉の時代から瀬戸内海航路の潮待ちの港として発展し、現在でも歴史的な町並みや建造物、生活文化が引き継がれています。

このように街道と海道が通り、人・物・文化・情報が行き交い、繁栄した歴史があり、その遺産が地域に息づいています。

3 自然と人工物の造形

海拔 500 メートル級の山々が連なる中国山地から、その山系を河川の浸食作用により形成された谷筋、一級河川芦田川が形成する福山平野と神辺平野、そして瀬戸内海に浮かぶ島々などで形成される福山市は、まさに日本の国土の縮図といった多様性を持っています。こうした特徴的な地形は、貴重な動植物の生育を促し、自然の美を見せています。また人々の営みの中で形成されてきた歴史的建造物や町並みなどが残されています。このように人工の美と自然の景観を中心とする歴史文化です。

■地域に息づく自然の造形と貴重な動植物

福山市には、仙酔島の海食洞や龍頭峡、山野峡、矢川のクリッペ、福山衝上断層など海・山の特徴的な自然の造形（地形）が存在します。

また、竹田のゲンジボタル及びその発生地、安国寺のソテツ、大田神社の大クスノキ、常国寺のケヤキ、賀茂神社のケヤキなど、多くの場所で貴重な動植物が生息・生育しています。加えて、前記の仙酔島やその周辺、龍頭峡や山野峡などでは、特徴的な地形と一体となって数多くの動植物を見ることができます。

このように特徴的な地形や貴重な動植物を見学・観察、そして学習することができます。

■中世から近・現代に至る町並み・建築とその文化

福山市には、中世の建造物で国宝の明王院五重塔・本堂をはじめ、重要文化財である社寺や近世城郭、登録有形文化財となっている近世・近代の建造物など、様々な歴史的建造物があります。加えて、港町の鞆、宿場町の神辺等では歴史的な町並みが残り、伝統的な産業や生活文化も引き継がれています。

また、「関西建築界の父」ともいわれる武田五一、建築環境工学の先駆者である藤井厚二が生まれた地です。

このように、様々な歴史的建造物や町並みが残り、建築・町並みミュージアムとも呼べる空間を構成しており、それらを通じて地域の歴史や文化を知ることができます。

■暮らしと生業、風土が培ってきた美しい空間

福山市には、名勝である鞆公園と町並み、神辺の近世山陽道の町並み、農村の集落や棚田

などが各地で見られます。

これらのうち鞆では、重要伝統的建造物群保存地区の周辺にも、伝統的建造物が多数存在し、昔からの商店・飲食店、鍛冶業や漁業等の伝統的な産業が継承され、お弓神事などの伝統行事も継承され、歴史的風致が形成されています。

このように、海・山・町の暮らしと生業、風土が培ってきた美しい空間を体感することができます。

4 中世武士の台頭と近世における福山藩の足跡

交通・交流の拠点として文物が集積し、良質な田畑が広がる備後には、古代から有力貴族の荘園が開かれました。中世には、国人領主や地頭が群雄割拠する乱世を迎え数多くの山城が築かれます。尼子氏や毛利氏といった勢力の争いに揺れ動きながら、江戸時代の初頭には、徳川家の譜代である水野家が藩主となり、福山城の築城や干拓地の拡大を行い、現在の福山市域が形成されていきます。このように福山市が形成される礎となった時代の遺構や遺物を中心とする歴史文化です。

■荘園の発達と中世武士の台頭による福山の中世世界

瀬戸内の陸と海の交通の要衝に位置する福山市は、荘園の発達と神辺平野に代表される豊かな耕作地、街道と海道という経済的基盤を背景に、中世には毛利氏の支配が確立するまで安定した権力が発生せず、国人領主が群雄割拠する状態でした。市内に残る多くの山城・海城、領主ゆかりの寺院・神社には、その時代を生きた武士や民衆の姿、そして毛利氏の統治の歴史が刻まれています。

こうした中世の遺跡や武士に関わる社寺を通じ、荘園の発達と中世武士の姿とともに、戦乱の世を生きた人々の面影を偲ぶことができます。

■西国の鎮衛 福山城と城下町、藩政の遺産

福山城は、江戸時代に西日本の外様大名を牽制するため、譜代大名で初代福山藩主の水野勝成によって築城されました。太平洋戦争中に戦災に遭いながらも、伏見櫓、筋鉄御門は焼失を免れ、重要文化財として保存されています。また、戦災で焼失した天守や御湯殿、明治時代初期に取り壊された鏡櫓、月見櫓は鉄筋コンクリートで復興され、本丸、二の丸などは福山城跡として史跡に指定されています。三の丸や堀の大半は埋め立てられましたが、重要文化財や再現された建造物、本丸や二の丸、その石垣などによって、勇壮で美しい城郭を体感することができ、公益財団法人日本城郭協会により「日本 100 名城」にも選定されています。

また、再現された天守は福山城博物館となっており、福山城や福山藩の歴史を学ぶことができます。

一方、旧城下町の一带は戦災を受け、新たな市街地となっていますが、地割や小路、水路など、各所でその痕跡を確認することができます。また、藩政時代には綿花や畳表の生産などの産業振興が実施され、繊維業はデニム生産などに引き継がれています。

このように中心市街地一帯は、城郭と城下町の遺産の上に成り立っており、歴史的な重層性を有し、街中で城郭と城下町、藩政時代の遺産に触れることのできる空間といえます。

■現代に生き続ける土木遺産

福山市には、街道や干拓、治山治水などの土木遺産が多数存在し、かつての山城、城郭・城下町も、基盤は土木遺産ということができ、往時の技術に加え、歴史的背景や人々の足跡も今に伝えています。これらの中には、堂々川や別所の砂留群など現在も機能しているもの

があるとともに、干拓地は市街地や農地となって遺産が継承され、福山城の城郭遺構の本丸、二の丸等は史跡となり、市民の憩いの場や観光、都市景観の重要な要素となって市街地に根付いています。

このように、現代に生き続ける様々な時代の土木遺産が地域に存在し、先人の知恵と努力、当時の有り様に思いを馳せることができます。

5 人材の輩出と学問・文芸

近世の福山では、他藩に例を見ないほど、「学び」の環境が充実していました。福山藩主・阿部家は、先進的に藩校を設け、人材の育成に取り組みます。一方、地域においては菅茶山が神辺に開いた廉塾で、身分を問わない教育が行われました。このような藩風の中から、近世から近代初頭の教育を形作った先人たちが輩出されました。また、日本を代表する葛原しげるや井伏鱒二などの文人墨客が福山の地から出て、文芸の世界に輝きを残しました。これらの資料や遺構を中心とする歴史文化です。

■学問・文芸の遺産

福山市は、江戸時代後期の教育者・儒学者、そして漢詩人である菅茶山が輩出した地であり、茶山が開いた廉塾の建物などが残されています。また、藩校「誠之館」を設立した7代藩主阿部正弘、全国に先駆けて初等教育普及に取り組んだ窪田次郎、青年教育に生涯を捧げた山本瀧之助、童謡詩人葛原しげる、小説家井伏鱒二などを生んだ地でもあります。

このように、学問・文芸に関わる人材が輩出しました。「廉塾ならびに菅茶山旧宅」、藩校「誠之館」など、先人を偲ぶことのできる建造物や場所が各地に残されています。

6 今に引き継ぐ暮らしと産業の文化

瀬戸内の温暖な気候は、豊かで暮らしやすい環境を形作っています。そこに暮らす人々は、その恩恵をいただき、それに感謝することを暮らしの中で大切に受け継いできました。それらを証明する集団ごとに営まれる生活の様式や祭、食、衣装、道具などが残されています。また、初代福山藩主の水野勝成は、この地の特性を最大限に生かすことのできる産業を奨励し、現在も本市の「ものづくりのまち」としての発展につながっています。これらの生活や産業関係の資料を中心とする歴史文化です。

■暮らしに息づく民俗芸能

福山市には、はねおどり（沼隈町、田尻町）、蔵王のはねおどり、二上りおどり、ひんよう踊り、備後田尻荒神神楽、本郷神楽、柞磨の継獅子舞、お手火神事、お弓神事、能登原とんど、茅の輪くぐり、ほら吹き神事・市立大祭（吉備津神社）、だんじり、弁天島花火大会、アイヤ節など、多種多様な無形の民俗文化財が各地で継承され、季節の到来を告げる風物詩にもなっています。

これらのうち瀬戸内に初夏の到来を告げる「弁天島花火大会」では、花火打ち上げ前に地元住民によって鞆の浦の伝統芸能「アイヤ節」が披露され、三味線の音楽とうちわを使って踊るリズムカルな踊りが始まると会場が盛り上がります。

このように、暮らしに息づく無形の民俗文化財を舞台となる場所や季節とともに体感することができます。

■今の暮らしに息づく伝統的な食

福山市には、海苔・魚介類やその加工品、くわい、富有柿、横尾飴、しょうが、こんにゃく、ぶどう、あんずをはじめ、伝統的な海と山の幸（海産物、農産物）が多種多様にあり、

醸造業も行われています。農産物は、芦田川やその支流などの川の恵みの産物といえます。

また、鰯の浦鰯しぼり網漁法などの伝統的な漁法が継承され、観光資源にもなっています。

こうした食材を利用した郷土料理も継承され、伝統的な農産物の栽培や加工方法などを含め食文化と捉えることができます。

このように、海・山・川の伝統的な食文化を、海産物・農産物を生み出す場所や周辺の環境・景観と一体となって体感し、楽しむことができます。

■産業振興の歴史と地場産業としての継承・発展

福山市では、街道や海道が通り、宿場町や港町では産業が興り、福山藩による干拓や治水、殖産興業によって農業や商工業が発展しました。本市の代表的な伝統産業として福山琴、松永下駄、鞆保命酒、備後畳表、備後絣があり、さらに松永の塩や新市のデニム、神辺の醸造業、鞆の鉄鋼業・海産物、沼隈の造船、内海の捕鯨網・海苔なども盛んです。

このように、各地において立地や土地条件などの特性を生かしながら、産業が興り発展した歴史があり、現在に引き継がれた地場産業、特産品も少なくありません。

7 災いとそれに立ち向かってきた英知

瀬戸内の穏やかな気候にあっても、自然災害への備えは必要となります。近世には土砂災害を防ぐための砂留が数多く築かれ、また、飢饉による混乱を乗り越え、困難に備える救済組織を設立するなど、先人たちがたくましく災いに立ち向かってきた技と知恵が残されています。

戦時中には福山市街地への空襲により、多くの人命が失われました。その復興に当たっては、ばらの植樹により心に安らぎをもたらす市民の活動が起こり、ばらのまち福山のシンボルとして、今に受け継がれています。これら先人たちの英知を伝える文化財を中心とする歴史文化です。

■災害・飢饉に立ち向かった先人の知恵と努力

福山市では、江戸時代の砂防のため築かれた砂留が今も機能しています。水害等の災害碑も残されています。また、沼隈や田尻、蔵王地区で継承されている「はねおどり」は、農村行事の虫送り・雨乞いが原形となっています。

さらに、飢饉時に困窮者を救済する組織「義倉」や一揆などの関係史料も残され、先人の苦勞と努力をうかがい知ることができます。

このように、災害や飢饉に備えた先人の知恵や取組を伝える遺産などが数多く残されており、歴史から災害や防災を学ぶ教材ともいえます。

■戦災と復興“ばらのまち”

福山市は戦災都市の1つでもあり、1945年(昭和20年)8月8日の深夜、市街地を中心にB-29爆撃機が襲い、多くの人命を失うなど大きな被害を受けました。この空襲では当時、国宝であった福山城天守なども焼失しました。

戦争が終わると復興への取組が始まり、次第に市街地が整備されていきました。その過程で、花園町の南公園(現在のばら公園)付近の住民が、「戦災で荒廃した街に潤いを与え、人々の心に和らぎを取り戻そう」と昭和30年代初頭、その公園にばらの苗木を植えました。これが「ばらのまち福山」の始まりです。

このように、戦争・戦災という悲しい出来事から立ち上がり、市民と行政が手を携えて復興とまちづくりに取り組んだ歴史文化があります。



福山市の歴史文化の概括的な整理

福山市の歴史文化の特性を概括的に捉えると、次のように表現することができます。

『瀬戸内の潮目に育まれた先進性と交流の気質、そして数々の困難を乗り越えてきた英知を伝える歴史文化』

- 「瀬戸内の潮目」と「先進性と交流の気質」は、歴史文化の特性の「2 交易・交流の基盤と文化」だけでなく、瀬戸内海が誕生した縄文時代から今日まで続く本市固有の特性で歴史文化の背景・基盤となっています。
- 「数々の困難を乗り越えてきた英知」は、江戸時代に築かれた堂々川の砂留群や戦災から立ち上がった市民の取組を継承・発展させた「ばらのまち福山」などに象徴されています。これまでの歴史の中で災害や飢饉、戦災など幾度も困難な状況に見舞われてきましたが、それらに立ち向かってきた先人の努力と英知を、本市の歴史文化の特性として捉えるものです。

第2節 福山市における関連文化財群と文化財保存活用ゾーン

本計画では、次のとおり関連文化財群^{※1}と文化財保存活用ゾーンを設定し、文化財の保存と活用を推進することとします。

1 関連文化財群

(1) 関連文化財群の設定

福山市の歴史文化の特性を勘案し、16の関連文化財群（図3-1）を設定します。なお、歴史構想の策定後、すでに取り組を進めている関連文化財群があるため、本計画における関連文化財群として継承することとします。

こうした関連文化財群をもとに、市民・地域活動団体等の主体的な参加を促し、関連文化財群の掘り下げと見直しを行いながら、文化財をその周辺環境を含めて守り、生かす取組の展開をめざします。

また、今後の文化財の調査や把握、市民等による文化財の再発見と情報共有などを通じて、新たなストーリーを見出した場合には、柔軟に修正や追加設定を行います。

こうした関連文化財群の設定の流れを整理したものが図3-1で、時代的な位置付けは図3-2のようになります。

【関連文化財群の7大項目（歴史文化の特性）】

- I 遺跡が物語る福山の黎明期のすがた
- II 交易・交流の基盤と文化
- III 自然と人工物の造形
- IV 中世武士の台頭と近世における福山藩の足跡
- V 人材の輩出と学問・文芸
- VI 今に引き継ぐ暮らしと産業の文化
- VII 災いとそれに立ち向かってきた英知

《時代区分について》

日本史における時代区分は、各時代の画期をいつに置くかにより諸説ありますが、ここでは教科書としても利用されている「図説日本史」（発行者：東京書籍）を参考にして、下記のように設定しています。

原始：旧石器時代・縄文時代・弥生時代

古代：古墳時代（ヤマト王権の成立）から飛鳥時代・奈良時代・平安時代

中世：鎌倉時代・室町時代

近世：安土桃山時代・江戸時代

近代：明治時代・大正時代・昭和時代（太平洋戦争終結まで）

現代：太平洋戦争終結後から現在まで

※1 関連文化財群

指定・未指定に関わらず多種多様な有形・無形の文化財を、歴史文化に基づく関連性、テーマ、ストーリーによって一定のまとまりとして捉えたもの。群を構成する複数の文化財を総合的・一体的に保存・活用するための枠組。未指定文化財についても構成要素としての価値付けが可能となり、また、相互に結びついた文化財の多面的な価値・魅力を明らかにすることができる。

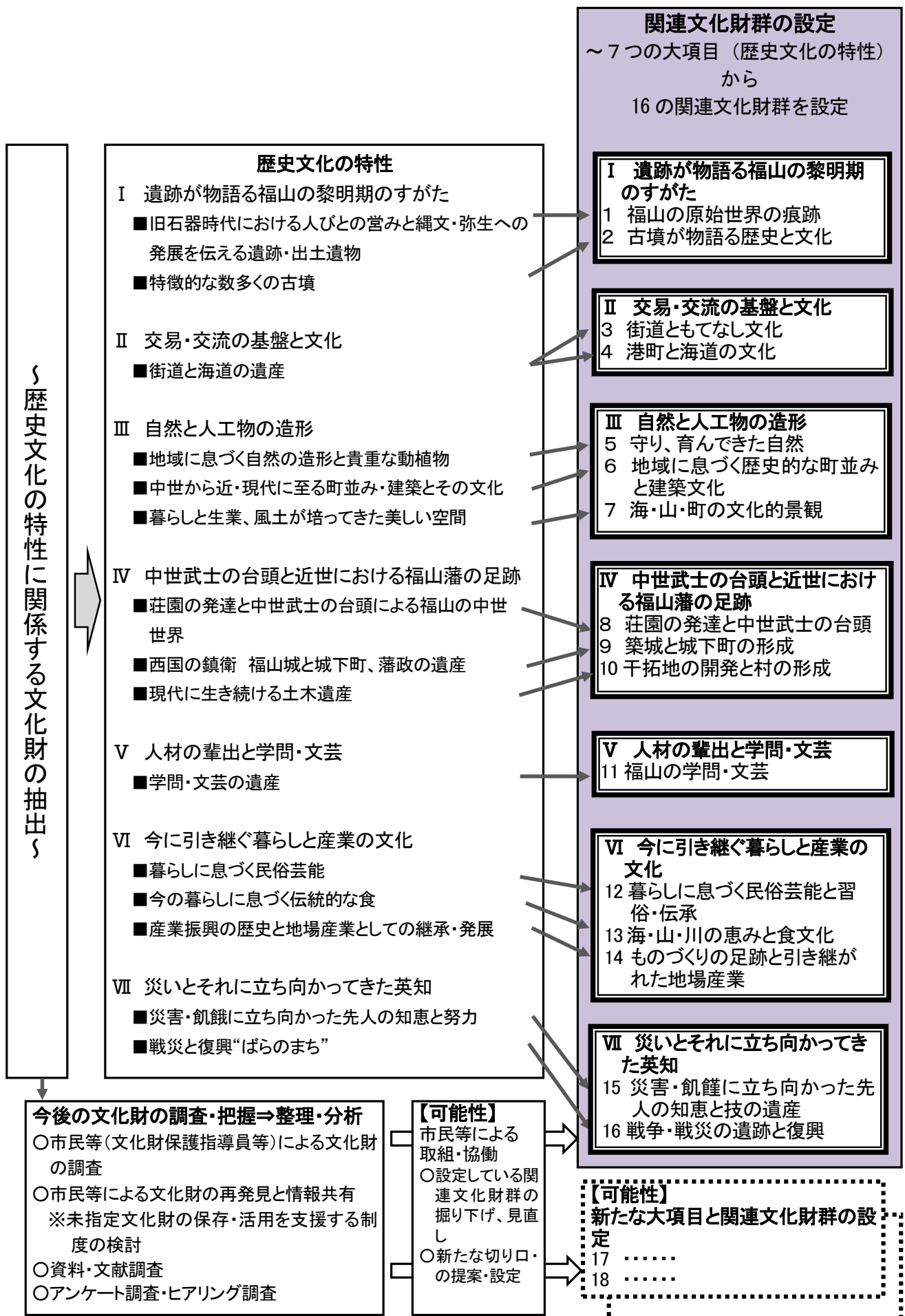


図 3-1 関連文化財群の設定

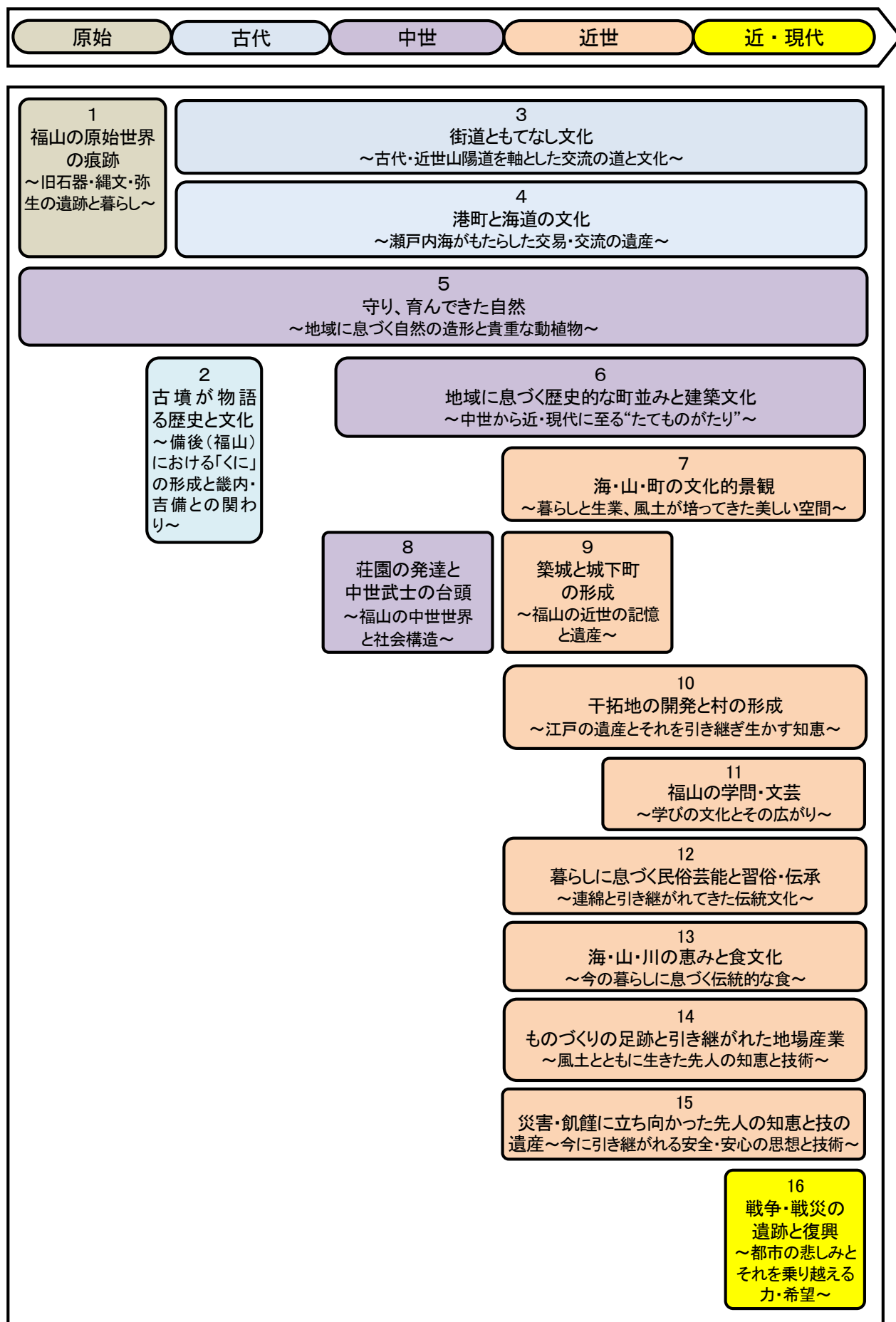


図 3-2 関連文化財群の時代的な位置付けのイメージ

(2) 福山市における関連文化財群の概要

16 の関連文化財群について、それぞれの概要を整理すると、次のようになります。

表 3-1 「Ⅰ 遺跡が物語る福山の黎明期のすがた」に係る関連文化財群（その 1）

関連文化財群の名称： 1 福山の原始世界の痕跡～旧石器・縄文・弥生の遺跡と暮らし～		
設定の考え方 神辺平野一帯や福山湾岸、松永湾岸などに立地する旧石器・縄文・弥生時代の遺跡、そして関係する資料館等をつなぐ関連文化財群です。市民・来訪者などが、遺跡・遺物等を通じて、原始の世界を知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。		
解説（ストーリー） 福山市では、2 万年前には先人達が暮らしていたことをうかがわせる遺跡や遺物があり、貝塚等の縄文時代の遺跡、環濠集落やそこから発展した丘陵部の大規模集落等の弥生時代の遺跡も確認されています。このように原始の遺跡や出土品は、気候変動と瀬戸内海の出現、狩猟から農耕への変遷など、先人の暮らしと文化をうかがい知ることのできる遺産です。		
主な構成文化財 県指定：馬取遺跡、神谷川弥生式遺跡、宮脇石器時代遺跡 未指定：大宮遺跡、御領遺跡、大門貝塚 など		
		
神谷川弥生式遺跡	宮脇石器時代遺跡	大門貝塚

表 3-2 「Ⅰ 遺跡が物語る福山の黎明期のすがた」に係る関連文化財群（その 2）

関連文化財群の名称： 2 古墳が物語る歴史と文化～備後（福山）における「くに」の形成と畿内・吉備との関わり～		
設定の考え方 古墳や関わりのある文化財、資料館等をつなぐ関連文化財群です。古墳の形や築造方法、その背景、当時の社会構造や精神世界などを見て、知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。		
解説（ストーリー） 福山市には、神辺平野一帯を中心に多数の古墳が所在するとともに、松永湾岸にも複数の古墳があり、古墳時代の前・中期は吉備勢力、後期は畿内政権の影響を受けていたと考えられます。このように外部との関係や影響を受け築造された数多くの古墳をめぐり、周辺環境と併せて学び、体感できます。		
主な構成文化財 国指定：二子塚古墳 県指定：石鎚山古墳群、松本古墳 未指定：尾市第 1 号古墳、御領古墳群 など		
		
二子塚古墳	松本古墳	尾市第 1 号古墳

表 3-3「Ⅱ 交易・交流の基盤と文化」に係る関連文化財群（その１）

関連文化財群の名称： 3 街道ともてなし文化～古代・近世山陽道を軸とした交流の道と文化～	
設定の考え方 古代（中世）山陽道と近世山陽道をはじめ多数の街道、関連する遺跡や建造物、もてなしの文化などをつなぐ関連文化財群です。街道を通じて培われた歴史と文化を見て、知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。	
解説（ストーリー） 福山市では、古代から山陽道が通り、それにつながる街道も多数あり、街道沿いには宿場町や寺社、山城等が、更には旅人の休憩所、住民の信仰と交流の場として各所で辻堂がつくられました。このような街道に関わる遺産をめぐり、地域の歴史や「もてなしの文化」を体感し、学ぶことができます。	
主な構成文化財 国指定：吉備津神社本殿、廉塾ならびに菅茶山旧宅、 県指定：神辺本陣 市指定：中谷廃寺跡 未指定：常夜燈、辻堂、道標 など	
 吉備津神社本殿  廉塾ならびに菅茶山旧宅  辻堂（駅家町服部）	

表 3-4「Ⅱ 交易・交流の基盤と文化」に係る関連文化財群（その２）

関連文化財群の名称： 4 港町と海道の文化～瀬戸内海がもたらした交易・交流の遺産～	
設定の考え方 瀬戸内海の海上交通や港町、関連する遺跡や建造物などをつなぐ関連文化財群です。海上交通やそれを利用した交易・交流を通じて培われた歴史と文化を見て、知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。	
解説（ストーリー） 瀬戸内海は古来より海上交通の大動脈であり、潮待ちの港である鞆をはじめ多数の港が築かれ、交易・交流の拠点となりました。このように海道が通り、人・物・文化・情報が行き交い繁栄し、歴史の舞台ともなったことを、関係する文化財をめぐることによって体感し、学ぶことができます。	
主な構成文化財 国指定：明王院五重塔・本堂、宮の前廃寺跡 国選定：福山市鞆町伝統的建造物群保存地区 未指定：草戸千軒町遺跡、鞆港湾施設（常夜燈、雁木、波止、船番所跡、焚場跡） など	
 明王院五重塔・本堂  宮の前廃寺跡  鞆港湾施設（雁木）	

表 3-5「Ⅲ 自然と人工物の造形」に係る関連文化財群（その 1）

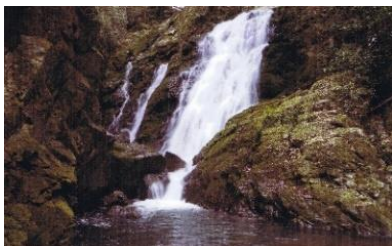
関連文化財群の名称：5 守り、育んできた自然～地域に息づく自然の造形と貴重な動植物～
設定の考え方 海、山、川の特徴的な自然の造形、貴重な動植物の生息・生育している場をつなぐ関連文化財群です。先人達が守り、育んできた自然を見て、知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。
解説（ストーリー） 福山市には、仙酔島の海食洞や龍頭峡、山野峡、矢川のクリッペ、福山衝上断層など海・山の特徴的な自然の造形（地形）が存在します。また、様々な場所で貴重な動植物が生息・生育しています。このような特徴的な地形や貴重な動植物を、市街地やその近くを含めて見学・観察、そして学習することができます。
主な構成文化財 県指定：龍頭峡、竹田のゲンジボタル及びその自生地、仙酔島の海食洞、福山衝上断層 市指定：賀茂神社のケヤキ、菅町のシダレザクラ 未指定：藤尾の滝 など  竹田のゲンジボタル及びその発生地福山  衝上断層（奈良津露頭）  藤尾の滝

表 3-6「Ⅲ 自然と人工物の造形」に係る関連文化財群（その 2）

関連文化財群の名称：
6 地域に息づく歴史的な町並みと建築文化～中世から近・現代に至る“たてものがたり”～
設定の考え方 中世から近・現代の特徴的な建築物及び伝統的建造物群、更にはそこに息づく生活文化などをつなぐ関連文化財群です。中世から近・現代に至る“たてものがたり”を見て、知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。
解説（ストーリー） 福山市には、国宝の明王院五重塔・本堂をはじめ、重要文化財である社寺や近世城郭、近世・近代の建築物など、様々な歴史的建造物があります。加えて、港町の靱、宿場町の神辺等では歴史的な町並みが残り、伝統的な産業や生活文化も引き継がれています。このような建築・町並みミュージアムとも呼べるような場所をめぐり、それらを通じて地域の歴史と文化を体感し、学ぶことができます。
主な構成文化財 国指定：明王院五重塔・本堂、福山城伏見櫓・筋鉄御門 国選定：福山市靱町伝統的建造物群保存地区 国登録：旧マルヤマ商店事務所 未指定：旧駅家村役場庁舎 など  福山城伏見櫓  福山市靱町伝統的建造物群保存地区  旧駅家村役場庁舎

表 3-7「Ⅲ 自然と人工物の造形」に係る関連文化財群（その 3）

関連文化財群の名称：
7 海・山・町の文化的景観～暮らしと生業、風土が培ってきた美しい空間～
設定の考え方
鞆や近世山陽道の町並み、農村の集落や棚田などの景観とそこに息づく生活文化などをつなぐ関連文化財群です。これらを見て、知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。
解説（ストーリー）
福山市には、名勝である鞆公園と町並み、神辺の近世山陽道の町並み、農村の集落や棚田などが各地で見られます。また、昔からの生業や伝統行事も継承され、歴史的風致が形成されているところもあります。このように、海・山・町の暮らしと生業、風土が培ってきた美しい空間を体感し、地域の歴史と文化を学ぶことができます。
主な構成文化財
国指定：鞆公園
国選定：福山市鞆町伝統的建造物群保存地区
未指定：い草の水田、近世山陽道の町並み（神辺、今津）、熊野町の棚田 など
   鞆公園（名勝） 近世山陽道の町並み（今津） 熊野町の棚田

表 3-8「Ⅳ 中世武士の台頭と近世における福山藩の足跡」に係る関連文化財群（その 1）

関連文化財群の名称：8 荘園の発達と中世武士の台頭～福山の中世世界と社会構造～
設定の考え方
荘園における耕作地の拡大と発達、国人領主の群雄割拠といった歴史を伝える遺跡や建造物などをつなぐ関連文化財群です。福山の中世世界の形成と社会構造を物語る歴史と文化を見て、知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。
解説（ストーリー）
福山市の中世は、毛利氏の支配が確立するまで安定した権力が発生せず、国人領主が群雄割拠する状態でした。市内に残る多くの山城跡・海城跡、領主ゆかりの寺院・神社には、その時代を生きた武士や民衆の姿、そして毛利氏の統治の歴史が刻まれています。こうした中世の遺跡や建造物等を通じ、荘園の発達と中世武士の姿とともに、戦乱の世を生きた人々の面影を偲ぶことができます。
主な構成文化財
国指定：一宮（桜山慈俊拳兵伝説地）
県指定：相方城跡、常国寺唐門、
市指定：常国寺建物（鐘楼、番神社本殿）
未指定：天別豊姫神社、神辺城跡、草戸千軒町遺跡 など
   相方城跡 常国寺唐門 天別豊姫神社

表 3-9「IV 中世武士の台頭と近世における福山藩の足跡」に係る関連文化財群（その2）

関連文化財群の名称： 9 築城と城下町の形成～福山の近世の記憶と遺産～		
設定の考え方 福山城の築城と城下町の建設、藩政の遺産をつなぐ関連文化財群です。近世の福山を物語る有形・無形の文化財を見て、知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。		
解説（ストーリー） 福山城は江戸時代に西日本の外様大名を牽制するため、譜代大名で初代福山藩主の水野勝成に築城されました。以降、城下町の建設や上水道整備、開墾や干拓による農地の確保と村の形成、藩内の寺社の修理・再建、綿花栽培やい草・畳表の生産などの産業振興を次々に行い、現在の福山の基礎を築きました。これらの遺産は現在も継承され、街中で城郭と城下町の遺産、歴史的な景観を体感し、近世の歴史と文化を学ぶことができます。		
主な構成文化財 国指定：福山城跡 県指定：二上りおどり、姫谷焼窯跡 市指定：旧内藤家長屋門 国登録：福山誠之館高等学校記念館 未指定：千間土手跡、どんどん池 など		
		
福山城跡	福山誠之館高等学校記念館	どんどん池

表 3-10「IV 中世武士の台頭と近世における福山藩の足跡」に係る関連文化財群（その3）

関連文化財群の名称： 10 干拓地の開発と村の形成～江戸の遺産とそれを引き継ぎ生かす知恵～		
設定の考え方 江戸時代に行われた干拓と村の形成をつなぐ関連文化財群です。現在の市街地や農地、その礎となった干拓地や村の形成に係る遺産を通じ、先人の知恵を見て、知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。		
解説（ストーリー） 福山市では、近世において福山藩の一大事業として干拓が行われました。そのとき築造された河川や池、樋門、その他干拓の痕跡が残されており、また、干拓地は生活・農業生産の基盤として継承され、特産物などが今も栽培されています。さらに、塩田開発も行われ、その遺産が様々な形で現在に息づいています。これらをめぐることにより、干拓の歴史や遺産を体感し、それがもたらした生活・産業・文化を学ぶことができます。		
主な構成文化財 県指定：草深の唐樋門 市指定：松永上之町共同井戸 国登録：村上家住宅 未指定：上田玄蕃直次之碑、塩崎神社、春日池、多数の水路 など		
		
草深の唐樋門	村上家住宅	春日池

表 3-11 「Ⅴ 人材の輩出と学問・文芸」に係る関連文化財群

関連文化財群の名称：11 福山の学問・文芸～学びの文化とその広がり～		
設定の考え方 福山ゆかりの学問や文芸に関わる歴史上の人物とその足跡をつなぐ関連文化財群です。各地に残され、伝えられている“知”の遺産を見て、知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。		
解説（ストーリー） 福山市は、江戸時代後期の教育者・儒学者である菅茶山をはじめ、学問・文芸に関わる人材が輩出するとともに、数多くの文人墨客、文化人などが足跡を残しています。こうした先人やその業績等を知ることができる場所が各所にあります。また、能や琴、書道、茶道等の市民の芸術文化活動に触れることで、学びの文化とその広がりを体感し、学ぶことができます。		
主な構成文化財 国指定：沼名前神社能舞台、廉塾ならびに菅茶山旧宅 市指定：山本瀧之助関係資料 未指定：葛原家住宅、茶道、書道、能 など		
		
沼名前神社能舞台	山本瀧之助関係資料	葛原家住宅

表 3-12 「Ⅵ 今に引き継ぐ暮らしと産業の文化」に係る関連文化財群（その1）

関連文化財群の名称： 12 暮らしに息づく民俗芸能と習俗・伝承～連綿と引き継がれてきた伝統文化～		
設定の考え方 踊りや神楽、祭り、神事など多彩な民俗芸能などをつなぐ関連文化財群です。地域ごとに継承されてきた伝統の営みを見て、知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。		
解説（ストーリー） 福山市には、はねおどり、神楽、獅子舞、神事、踊り、とんど、だんじり、花火大会等の伝統行事が各地で継承され、季節の到来を告げる風物詩にもなっています。このように、暮らしに息づく伝統行事を、舞台となる場所や季節とともに体感し、楽しむことができます。		
主な構成文化財 県指定：蔵王のはねおどり、本郷神楽 市指定：津之郷惣堂ひんよう踊り 未指定：茅の輪くぐり、祇園祭、アイヤ節、八朔の馬出し など		
		
蔵王のはねおどり	津之郷惣堂ひんよう踊り	八朔の馬出し

表 3-13 「Ⅵ 今に引き継ぐ暮らしと産業の文化」に係る関連文化財群（その 2）

関連文化財群の名称：13 海・山・川の恵みと食文化～今の暮らしに息づく伝統的な食～		
設定の考え方		
伝統的な食材・食品、料理をつなぐ関連文化財群です。各地域で親しまれてきた食工夫を見て、知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。		
解説（ストーリー）		
福山市には、海苔・魚介類やその加工品、あんず、くわい、しょうが、富有柿、ぶどう、こんにゃく、横尾飴をはじめ、伝統的な海と山の幸（海産物、農産物）が多種多様にあり、醸造業や伝統的な漁も行われ、地域を特徴づける食工夫としても息づいています。こうした食工夫を、海産物・農産物等を生み出す場所や周辺の環境・景観と一体となって体感し、楽しむことができます。		
主な構成文化財		
市指定：鰯の浦鯛しばり網漁法		
未指定：くわい、ぶどう、富有柿、うずみ、日本酒、保命酒、横尾飴 など		
		
鰯の浦鯛しばり網漁法	くわい	保命酒

表 3-14 「Ⅵ 今に引き継ぐ暮らしと産業の文化」に係る関連文化財群（その 3）

関連文化財群の名称：		
14 ものづくりの足跡と引き継がれた地場産業～風土とともに生きた先人の知恵と技術～		
設定の考え方		
歴史的に培われたものづくりやその遺産、それを引き継ぎ発展させた地場産業をつなぐ関連文化財群です。風土とともに生き、それを生かしてきた先人の知恵と技術を見て、知って、学び、追体験すること、そして文化財としての価値を守り、生かすことをめざすものです。		
解説（ストーリー）		
福山市には、現在に継承されている福山琴、松永下駄、鰯保命酒、備後畳表、備後絣など、歴史的に培われた地場産業があり、産業遺産ともいえる建造物や歴史資料なども残されています。こうした伝統的な地場産業や産業遺産などを知り、現地を訪ねることで、風土とともに生きた先人の知恵と技術を体感し、学ぶことができます。		
主な構成文化財		
国指定：太田家住宅		
国選定：手織中継表製作		
県指定：姫谷焼色絵皿		
国登録：旧マルヤマ商店事務所、村上家住宅主屋		
未指定：松永塩商社跡、松永下駄、備後畳表、備後絣 など		
		
姫谷焼色絵皿	備後絣	備後畳表

表 3-15 「Ⅶ 災いとそれに立ち向かってきた英知」に係る関連文化財群（その１）

関連文化財群の名称：15 災害・飢饉に立ち向かった先人の知恵と技の遺産～今に引き継がれる安全・安心の思想と技術～
設定の考え方 江戸時代から近・現代に至る災害・飢饉やそれに立ち向かった足跡・痕跡をつなぐ関連文化財群です。災害・飢饉に立ち向かった人々の努力、知恵や技を見て、知って、学び、追体験すること、そして今に引き継がれる安全・安心の思想と技術を学び、生かすことをめざすものです。
解説（ストーリー） 福山市では、江戸時代の砂防のため築かれた砂留が今も機能しています。また、災害や飢饉に備えた先人の知恵や取組を伝える遺産が数多く残されています。はねおどりは、農村行事の「虫送り」、「雨乞い」に原形があります。こうした災害や飢饉に立ち向かった先人の知恵や取組を伝える遺産から災害や防災の歴史を学ぶことができます。
主な構成文化財 国登録：堂々川 1 番～6 番砂留、薦ヶ迫砂留 未指定：延宝元年の大雨死者供養塔、別所砂留、地神、河相周兵衛と義倉 など  堂々川 6 番砂留  別所砂留  延宝元年の大雨死者供養塔

表 3-16 「Ⅶ 災いとそれに立ち向かってきた英知」に係る関連文化財群（その２）

関連文化財群の名称：16 戦争・戦災の遺跡と復興～都市の悲しみとそれを乗り越える力・希望～
設定の考え方 太平洋戦争末期に大空襲を受けた歴史と復興への取組、その結実などをつなぐ関連文化財群です。人々と都市の悲しみ、それを乗り越える努力、行動などを見て、知って、追体験すること、そして歴史に学び、平和と未来への希望をつなぐことをめざすものです。
解説（ストーリー） 福山市は、戦災都市であり、旧陸軍関係の施設や戦災の痕跡などが残されており、復興の中で誕生したばら公園、慰霊の施設、資料館などもあります。また、ばらのまちづくりは、戦後の復興を願って始められ、市民・団体・事業者・行政が一体となって継承しています。こうした戦争遺跡や施設、取組を知ることは、これからのまちづくり、そして、平和を考えることにつながります。
主な構成文化財 国指定：福山城の焼石垣 未指定：旧陸軍歩兵第四十一連隊西門柱、戦没者慰霊碑、忠魂碑、ばら公園、福山海軍航空隊無線壕跡 など  福山城の焼石垣  ばら公園  福山海軍航空隊無線壕跡

2 文化財保存活用ゾーン

(1) 文化財保存活用ゾーンの考え方と設定方針

文化財保存活用区域とは、「文化財が特定の範囲に集積している場合に、当該文化財（群）をその周辺環境も含めて面的に保存・活用するために設定するもの（戦略的な計画区域）」（「文化財保存活用地域計画」パンフレット）です。

福山市は、文化財保存活用区域は市街地や集落地、田園などと一体となって構成される区域であることから、文化財を保護するために規制する区域ではなく、文化的な空間の保全・創出、更には市民の主体的な参加や地域活動などと合わせて、文化の薫り高い地域を守り、育てていく区域として捉えることが重要と考えます。

このため、本計画では、文化財保存活用区域の考え方を取り入れながら、文化財をその周辺環境も含め一体的に保存・活用するため、次のような基本的な設定方針に基づき、文化財保存活用ゾーンを設定します。

なお、歴文構想の策定後、すでに取組を進めている歴史文化保存活用区域があるため、本計画においては文化財保存活用ゾーンとして継承することとします。

【文化財保存活用ゾーンの設定方針】

■文化財が相対的に集積している範囲

関連文化財群を構成する文化財、その他の文化財が相対的に数多くあり、周辺環境と合わせて面的な文化財の保存・活用ができる、又はその可能性の高い範囲とします。

■関連文化財群と部分的に重なる範囲

関連文化財群を構成する文化財を部分的に組み入れ、関連文化財群のストーリーを含めて文化財の保存・活用が考えられる範囲とします。

この点については、文化財保存活用ゾーンにおける文化財の保存・活用が、その範囲で完結するのではなく、周辺地域又は福山市の各地域とつながることで波及効果が生み出されることを期待するものです。

■文化財の保存・活用のストーリーが見いだせる範囲

文化財の保存・活用のストーリーを見出すことができる範囲とします。

ただし、設定したストーリーが、文化財保存活用ゾーン内の全ての文化財を包含する必要はありません。ここで設定するストーリーは、それぞれの文化財保存活用ゾーンの特色や個性を示すことに主眼を置くものです。

つまり、市民に情報が伝わり、文化財への関心や意識、気運が高まり、取組や支援・参加につながることを意図しています。

また、ストーリーに関係する文化財だけでなく、それ以外の区域内の文化財を含め、可能な限り面的に文化財の保存・活用をめざすものです。

■市街地・集落地を含んでいるまたは近接している範囲

住民等による日常的な文化財の維持管理や保存・活用を意図し、市街地・集落地を含んでいる又は近接している範囲とします。

(2) 福山市における文化財保存活用ゾーンの設定

「(1)」の設定方針に基づくとともに、地域的なバランスを考慮し、9つの文化財保存活用ゾーンを設定します(図 3-3、3-4)。この地域バランスの考慮は、各地域において、市民や地域活動団体等が中心となった文化財の保存・活用の取組を促進することを意図しています。

文化財保存活用ゾーンの範囲は、原則として明確な区分線を設けないこととします。明確な区域は、必要に応じて今後、具体的な取組を進める中で検討することとします。

また、本計画における文化財保存活用ゾーンの名称は、「○○地区」と表記します。

なお、明確な区域設定を行う必要があるのは、次のような計画策定や事業を行う場合が想定されます。

＜明確な区域設定を行う場合の例＞

- 歴史的風致維持向上計画(歴史まちづくり法)の重点区域とする場合
- 文化財やその周辺的环境整備を行う場合 など

市民や地域活動団体等が主体的に関わる文化財の保存・活用の取組においては、必ずしも明確な区域設定を行う必要はなく、むしろ柔軟に捉えた方がよい場合が多いと考えます。

また、今後、市民や地域活動団体等の主体的な参加のもとに、新たなゾーン設定やゾーンの縮小・拡大、複数のゾーンを合わせた範囲の設定に柔軟に対応していくこととします。

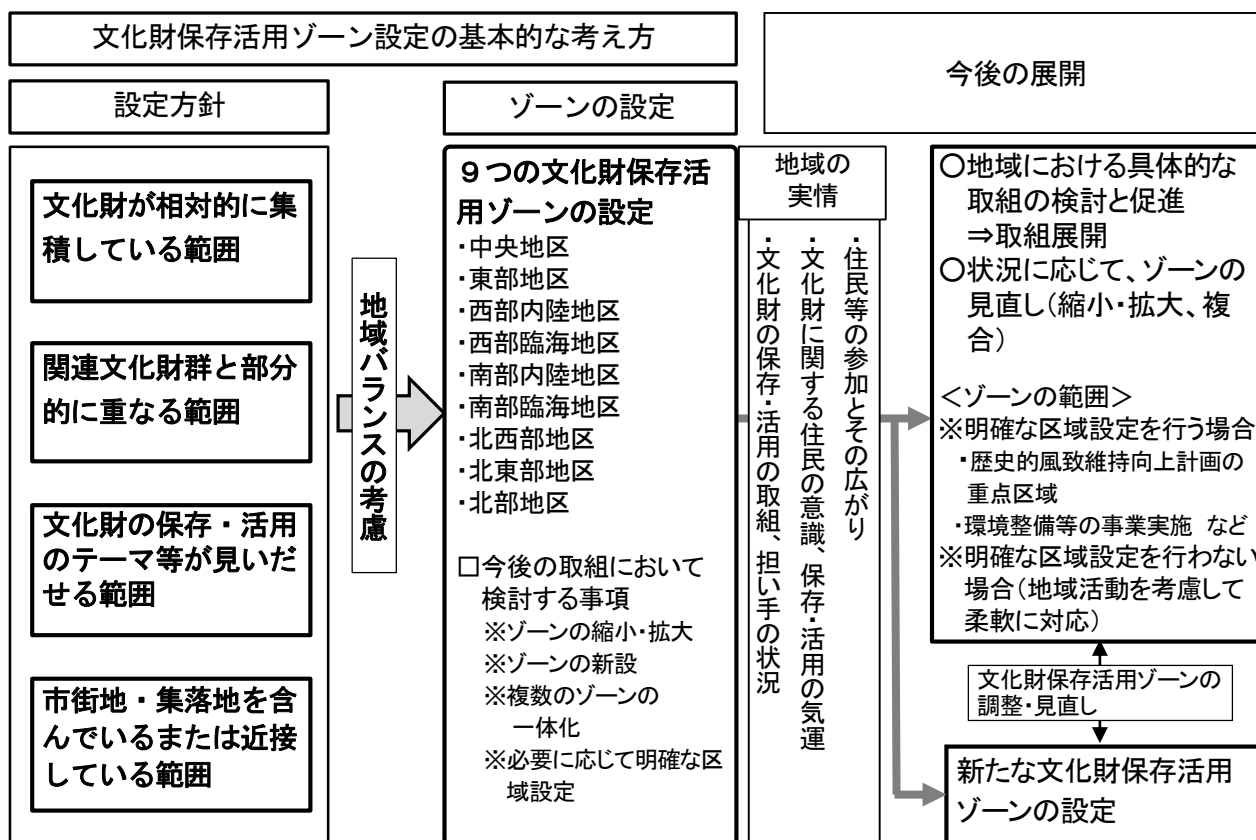


図 3-3 文化財保存活用ゾーン設定の基本的な考え方と今後の展開

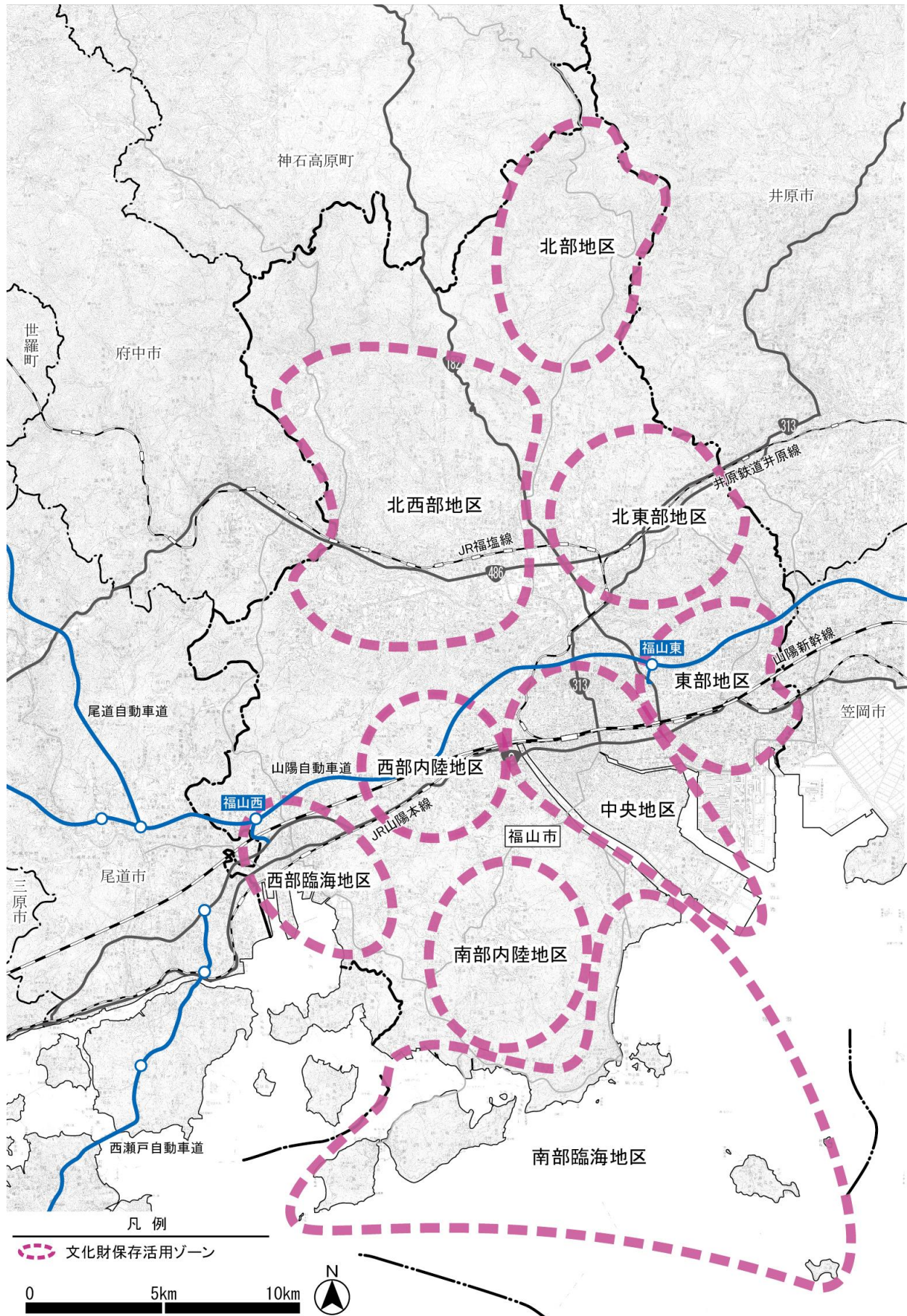


図 3-4 文化財保存活用ゾーンの設定

(3) 福山市における文化財保存活用ゾーンの概要

福山市における文化財保存活用ゾーンについて、9つの文化財保存活用ゾーンの名称、設定の考え方、概要及びゾーン内の文化財を記載しています。

表 3-17 文化財保存活用ゾーンの概要

(1/3)

ゾーンの名称：中央地区
設定の考え方 中世港湾都市が所在した遺跡、及び江戸時代の旧城下町やその周辺の干拓地を中心とした文化財保存活用ゾーンです。中世と近世城下町の遺産、そして戦災の記憶と復興を継承する『ばらのまち』を、市民・地域・行政で守り、生かすことをめざして設定します。
ゾーンの概要 このゾーンの中心部一帯は、福山城や城下町が広がっていた範囲で、藩政時代の遺構等とともに、民俗芸能等も継承されています。また、国宝の建造物を有する明王院や中世の港湾都市である草戸千軒町遺跡が所在します。戦争遺跡や近代化遺産、戦災復興への取組が結実したばら公園などがあり、中世から近・現代の歴史と文化に触れることができます。
ゾーン内の文化財 国指定：明王院五重塔、明王院本堂、福山城筋鉄御門、福山城伏見櫓、福山城跡 県指定：明王院庫裡、明王院山門、明王院書院、二上りおどり、水野勝成墓 市指定：明王院護摩堂、明王院鐘楼、福山城跡小丸山 国登録：福山誠之館高等学校記念館 未指定：干拓の遺構、旧陸軍施設関係跡、ばら公園、 など
ゾーンの名称：東部地区
設定の考え方 旧城下町の東側、備中国との境界付近における文化財保存活用ゾーンです。原始からの足跡と城下町東側の玄関口における遺産を市民・地域・行政で守り、生かすことをめざして設定します。
ゾーンの概要 このゾーンの南側は、かつて瀬戸内海に面した地域で、貝塚が発見されており、縄文時代から人々が暮らしていたことを物語っています。また、古墳や古代の寺院跡等、中世の山城跡等、近世のため池や街道の道標等、近代の教育に関わる石碑や生家等が継承されています。貴重な断層や植物もあり、歴史の重層性と自然を体感し、学ぶことができます。
ゾーン内の文化財 国指定：宮の前廃寺跡 県指定：蔵王のはねおどり、福山衝上断層 市指定：大蔭2号古墳、坪生滑池窯跡、宇山のエヒメアヤメ及びその自生地 未指定：掛谷宗一博士生家、明知山城跡、春日池 など
ゾーンの名称：西部内陸地区
設定の考え方 旧城下町の西側、近世山陽道と尾道街道が交わる位置にあり、街道を中心とした文化財保存活用ゾーンです。街道がつなぐ遺産を市民・地域・行政で守り、生かすことをめざして設定します。
ゾーンの概要 弥生時代には大規模な集落が形成され、古墳時代になると福山湾や平野を見下ろす丘陵部に多数の古墳が築造されました。中世には山城が築かれ、近世になると山陽道を通るなど、城下町と尾道をつなぐ重要な位置にありました。こうした歴史に加え、伝統行事等も継承され、田園や里山の自然とともに、歴史と文化を体感し、学ぶことができます。
ゾーン内の文化財 県指定：田辺寺塔跡 市指定：宝篋印塔、津之郷惣堂ひんよう踊り、イコーカ山古墳、坂部4号古墳、スベリ石1号古墳、本谷1号古墳、津之郷の食虫植物とその自生地 未指定：中村華精の碑、中村華精の碑、銀山城跡、藤井葦川墓 など

表 3-17 文化財保存活用ゾーンの概要

(2/3)

ゾーンの名称：西部臨海地区
設定の考え方 原始時代から人々が住み続けてきた松永湾岸において、それらの遺産や伝統的な産業、生活文化が息づく文化財保存活用ゾーンです。海道と街道の交界が育んだ遺産を市民・地域・行政で守り、生かすことをめざして設定します。
ゾーンの概要 このゾーンでは、貝塚等が発見されており、縄文時代から人々が暮らしていたことが分かります。かつて海上交通の要衝であったことから古墳も多数所在します。近世には近世山陽道が通り、塩田がつくられました。塩の煮炊きに使用する薪が松永下駄のはじまりと言われていています。こうした歴史と文化を、松永湾一帯の自然や景観とともに体感し、学ぶことができます。
ゾーン内の文化財 国指定：はきものコレクション 県指定：馬取遺跡、本庄重政墓 市指定：今津本陣跡、長波古墳、永松古墳、松永上之町共同井戸、 国登録：旧マルヤマ商店事務所、村上家住宅 未指定：だんじり、下迫貝塚 など
ゾーンの名称：南部内陸地区
設定の考え方 福山市の南西部、沼隈半島の内陸部において、農山村の景観と生業が息づき、民俗芸能などが継承されている文化財保存活用ゾーンです。半島の自然と風土が育んだ遺産と文化的景観を市民・地域・行政で守り、生かすことをめざして設定します。
ゾーンの概要 古代の須恵器の窯跡、中世の山城跡、近世の寺社の建造物等があり、「はねおどり」、「能登原とんど」が継承されています。また、平家の落人伝説が伝えられている農村集落、初夏にはホテルが乱舞する棚田が文化的景観として地域に息づいています。こうした歴史と文化を、田園や山々の自然、景観とともに体感し、学ぶことができます。
ゾーン内の文化財 国選定：手織中継表製作 県指定：光照寺山門、光照寺鐘撞堂、はねおどり、熊野の上代土器窯跡 市指定：亀山八幡宮鳥居、能登原とんど、一乗山城跡、常国寺のケヤキ、常国寺のモッコク 未指定：熊野焼、沼隈町横倉の農村集落（平家の落人伝説）、熊野町の棚田 など
ゾーンの名称：南部臨海地区
設定の考え方 福山市南部の臨海部と島嶼部において、海や海道に関わる遺産が数多く存在する文化財保存活用ゾーンです。海と海道が育んだ遺産を市民・地域・行政で守り、生かすことをめざして設定します。
ゾーンの概要 瀬戸内海と島々の風光明媚な景観が広がり、鞆を中心に有形・無形の文化財が集積しています。また、田島と横島、走島などには古くからの港があり、各所に港町の風情が息づいています。こうした歴史と文化を、瀬戸内海の恵みとともに体感し、学ぶことができます。
ゾーン内の文化財 国指定：安国寺釈迦堂、太田家住宅、沼名前神社能舞台、磐台寺観音堂 国選定：福山市鞆町伝統的建造物群保存地区 県指定：弁天島塔婆、沼名前神社鳥居、はねおどり、備後田尻荒神神楽、草深の唐樋門 市指定：福禅寺対潮楼朝鮮通信使関係史料 未指定：西海捕鯨関係資料、村上庄屋敷跡、歴史的町並み（田島の町地区） など

表 3-17 文化財保存活用ゾーンの概要

(3/3)

ゾーンの名称：北西部地区
設定の考え方 福山市の北西部において、原始時代の遺跡や古墳が多数存在し、近・現代に至るまでの文化財が存在する文化財保存活用ゾーンです。旧石器時代から脈々と培われてきた遺産と集積する古墳を市民・地域・行政で守り、生かすことをめざして設定します。
ゾーンの概要 旧石器時代からの遺跡の所在することから本市の黎明期を象徴しています。また、古墳が集積し、古代の寺院跡、中世の山城跡等もあり、古代（中世）山陽道が通るとともに、近世の建造物や民俗芸能、備後緋等が継承されています。こうした歴史と文化を神辺平野や丘陵地等の景観とともに体感し、学ぶことができます。
ゾーン内の文化財 国指定：吉備津神社本殿、二子塚古墳 県指定：吉備津神社神楽殿、石鎚山古墳群、猪ノ子古墳、大迫古墳、大佐山白塚古墳、北塚古墳、曾根田白塚古墳、山の神古墳、 市指定：吉備津神社拝殿、素盞鳴神社本地堂、棕山城跡 国登録：信岡家住宅 未指定：市立大祭、ほら吹き神事、芋平遺跡、亀寿山城跡、慶徳廃寺跡、古代山陽道、竹の迫遺跡、最明寺跡（品治駅推定地） など
ゾーンの名称：北東部地区
設定の考え方 福山市の北東部において、原始時代からの足跡が残され、街道を通じた遺産などが集積する文化財保存活用ゾーンです。太古からの交通の要衝に息づく遺産を市民・地域・行政で守り、生かすことをめざして設定します。
ゾーンの概要 縄文時代には本ゾーンを含む神辺平野まで湾が入り込んでいたと考えられ、当時の海岸線と推定される場所付近を中心に遺跡が所在します。また、古代から近世に至る山陽道が通り、近くには古代の寺院跡、中世の山城跡、近世の宿場町の建造物や町並み等があります。さらに、福山藩の砂防の遺産である砂留があります。こうした歴史と文化を、旧山陽道を軸にめぐり、体感し、学ぶことができます。
ゾーン内の文化財 国指定：廉塾ならびに菅茶山旧宅 県指定：亀山弥生式遺跡、菅茶山の墓、神辺本陣跡、迫山第1号古墳、大坊古墳、 市指定：御領はねおどり、神辺二上り踊り、中谷廃寺跡 国登録：内広砂留、堂々川第1号～第6号砂留、、鳶ヶ迫砂留 未指定：小山池廃寺跡、神辺城跡、備後国分寺、要害山城跡、古代山陽道、近世山陽道、歴史的町並み（神辺宿） など
ゾーンの名称：北部地区
設定の考え方 福山市の北部の山地・山間部において、自然と一体となった生活文化や遺産が息づいている文化財保存活用ゾーンです。自然と風土が育んだ山地・山間部の遺産を市民・地域・行政で守り、生かすことをめざして設定します。
ゾーンの概要 このゾーンには、北部に吉備高原の縁辺部を深く刻む溪谷があり、美しい景観の中に動植物が生息・生育し、特徴的な地質鉱物も所在します。また、谷間の集落には、石塔群や明治時代の建造物などがあり、一部は福山市山野民俗資料収蔵庫として保存・活用されています。こうした歴史と文化を、山間部の生業や食文化と併せて体感し、学ぶことができます。
ゾーン内の文化財 県指定：龍頭峡、上原谷石灰石巨大礫、矢川のクリッペ 市指定：大原石塔群 国登録：旧山野村役場 未指定：こんにゃく芋、こんにゃく、猿鳴峡（龍頭峡と猿鳴峡を合わせて山野峡：県立自然公園） など